

令和7年度

事業報告書

小松市矢崎町ナ 129 番地 1

社会福祉法人大和善隣館

法人番号 2-2200-0500-3536

令和7年度 社会福祉法人大和善隣館『事業報告』

令和7年度における事業報告は、次の通りである。

【1】法人役員構成等

1. 役員構成

理事長 広川 保

評議員 定数7名以上12名以内 (令和8年3月31日現在11名)

理事 定数6名以上10名以内(理事長含) (令和8年3月31日現在10名)

監事 定数2名以上 (令和8年3月31日現在4名)

2. 評議員会開催

開催年月日	出席数	議 決
令和7年6月19日 開会:17時00分 閉会:18時00分	評議員 11名 理事 10名 監事 4名	議案第7号 令和6年度事業報告 ・計算書類・財産目録の承認・監事監査報告・社会福祉充実残額 議案第8号 令和7年度資金収支補正予算について 議案第9号 理事の選任について 議案第10号 監事の選任について
令和7年12月18日 開会:14時10分 閉会:14時45分	評議員 10名 理事 10名 監事 3名	議案第11号 令和7年度資金収支補正予算について 「その他」 石川県指導監査結果報告
令和8年3月19日 開会:14時50分 閉会:16時10分	評議員 9名 理事 10名 監事 3名	議案第1号 定款の一部変更について 議案第2号 令和7年度資金収支補正予算について 議案第3号 令和8年度事業計画について 議案第4号 令和8年度資金収支予算について 議案第5号 令和8年度資金収支補正予算について 議案第6号 理事の選任について

3. 理事会開催

開催年月日	出席数	議 決
令和7年5月12日 書面決議	理事 8名 監事 4名	議案第11号 評議員候補者の推薦について 議案第12号 評議員選任解任委員会の招集について
令和7年6月5日 開会:13時00分 閉会:14時30分	理事 10名 監事 4名	議案第13号 諸規程の一部変更について 議案第14号 令和6年度事業報告 ・計算書類・財産目録の承認、監事監査報告、社会福祉充実残額 議案第15号 令和7年度資金収支補正予算について 議案第16号 役員等候補者の推薦について 議案第17号 評議員会の招集について 「その他」 理事長の職務執行状況報告 高額物品の購入及び高額修繕工事等表
令和7年6月19日 開会:18時05分 閉会:18時20分	理事 10名 監事 4名	議案第18号 理事長及び常務理事の選定について 議案第19号 評議員選任解任委員の選任について

令和7年9月16日 開会:13時30分 閉会:14時05分	理事10名 監事4名	議案第20号 諸規程の一部変更について 議案第21号 評議員会の招集について 「その他」 理事長及び業務執行理事の執行状況報告
令和7年12月18日 開会:13時00分 閉会:14時05分	理事10名 監事3名	議案第22号 諸規程の一部変更について 議案第23号 令和7年度資金収支補正予算について 「その他」 理事長及び業務執行理事の職務状況報告 石川県指導監査結果報告
令和8年2月9日 書面決議	理事10名 監事4名	議案第1号 評議員会の招集について
令和8年3月19日 開会:13時00分 閉会:14時40分	理事10名 監事3名	議案第2号 諸規程の一部変更について 議案第3号 施設長の選任について 議案第4号 役員等候補者の推薦について 議案第5号 定款の一部変更について 議案第6号 令和7年度資金収支補正予算について 議案第7号 令和8年度事業計画について 議案第8号 令和8年度資金収支予算について 議案第9号 令和8年度資金収支補正予算について 「その他」 理事長及び業務執行理事の執行状況報告

4. 評議員選任解任委員会開催

開催年月日	出席数	議決
令和7年5月19日	7名(全委員)	評議員の選任について

5. 法人監査

開催年月日	出席数	指摘事項
令和7年5月12日 ～16日 開会:10時00分 閉会:12時00分	監事4名	指摘事項なし

【2】法人本部事務局

「法人名称変更・所在地移転」「やぎき乳児保育園開園」から節目となる 5 年が経過し、新たな地でこれまで以上に地域・地元で親しまれる存在になれるよう努め、社会に貢献する法人として未来永劫存続するよう最善を尽くす。

昨年度は日頃より応援していただき、保護者・地域・県・小松市そして能美市・関係機関ほか皆様方の多大なるご支援のもと、法人創立 80 周年を迎え、次なる節目である創立 90 周年、またその先の 100 周年に向け、当法人を創立した先人の熱意と、その想いと期待に応えるべく、歴史を繋いでいく所存である。

湯野子ども園民営化より丸 2 年が経過し、昨年 10 月末には認可定員規模にて 215 名受入れ可能な新園舎、また 3,600 m²を超える大きな園庭も完成した。環境は整備され、今後より良い「教育・保育」を実践することが期待される。ここ 2 年間は事業継承にあたり能美市派遣職員の方々にご協力いただき、大きな混乱なく引き継ぐことが出来たと思うが、派遣期間満了に伴い来年度以降は全て当法人職員にて運営を行う。これまでに継承した伝統ある保育を守りながらも、大和善隣館が大切にしている保育理念を融合させ、大和善隣館ならではの「教育・保育」を実践していきたい。

当法人では令和 3 年度に小松市、令和 6 年度より能美市において SDGs 宣言をしている。目標達成年限である 2030 年までに可能な範囲での取組を実践していきたい。今年度は湯野子ども園新園舎に「太陽光発電設備」を設置し、カーボンオフセット LP ガス(温室効果ガスの排出量を実質ゼロにした LP ガス)や再生可能エネルギー電気を使用。また、月津子ども園では電気自動車を導入、湯野子ども園でも購入を検討し、環境保全寄与に取り組む。

1. 施設一覧表

施設名	認可定員/利用定員 及び児童(講座生)数	開設年月日 ()は保育所開設	住所
幼保連携型認定子ども園 大和子ども園 施設長:池田 巧	240 名/185 名	平成 27 年 4 月 1 日 (昭和 19 年 6 月 15 日)	小松市大和町 102 番地
大和子ども園分園やぎき乳児保育園 施設長:池田 巧(本園兼務)	20 名/20 名	令和 3 年 4 月 1 日	小松市矢崎町 ナ 129 番地 1
幼保連携型認定子ども園 松陽子ども園 施設長:大西 千鶴	170 名/155 名	平成 27 年 4 月 1 日 (平成 17 年 4 月 1 日)	小松市大領中町 1 丁目 171 番地
幼保連携型認定子ども園 月津子ども園 施設長:荒井 早苗	135 名/105 名	平成 27 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	小松市月津町 め 57 番地
幼保連携型認定子ども園 中海子ども園 施設長:清水 啓子	105 名/65 名	平成 30 年 4 月 1 日	小松市軽海町 ノ 16 番地 4
幼保連携型認定子ども園 蓮代寺子ども園 施設長:片桐 真二	120 名/85 名	平成 30 年 4 月 1 日	小松市蓮代寺町 に 173 番地
幼保連携型認定子ども園 湯野子ども園 施設長:堂前 弘美	205 名/205 名	令和 6 年 4 月 1 日	能美市湯谷町 115 番地 4
芦城児童クラブ 1 施設長:田中 琴乃	45 名	平成 17 年 4 月 1 日	小松市西町 25 番地
芦城児童クラブ 2 施設長:田中 琴乃	45 名	平成 22 年 4 月 1 日	
芦城児童クラブ 3 施設長:田中 琴乃	45 名	令和 7 年 4 月 1 日	
蓮代寺児童クラブ 施設長:西田 みゆき	25 名	平成 31 年 4 月 1 日	小松市蓮代寺町 ハ丙 16 番地
大和ぬくもり大学 学長:朝岡 明美 施設長:広川 保	500 名	平成 4 年 7 月 1 日	小松市相生町 11 番地
本部事務局 施設長:和田 博史			小松市矢崎町 ナ 129 番地 1

2.主な取り組み

①湯野こども新園舎完成

令和6年4月1日より運営が能美市から当法人に移管し、丸2年が経過した。令和7年10月末には認可定員215名受入れ可能な規模の新園舎が完成。また3,600㎡を超える広々とした園庭も完備し、この新たな環境の中、如何にしてより良い「教育・保育」が利用者に提供できるかが重要であると感じる。更に新園舎が地域のランドマークとなり、皆様より親しまれる存在であり続けたい。令和6年度から共同保育を行っている能美市派遣職員の方々については今年度で派遣期間が満了し、来年度以降はオール大和善隣館職員での体制となる。2年間の引継ぎ期間が無事完了し、引き継いだ伝統的な保育も継承しつつ、大和善隣館の大切にする保育理念を融合させ、大和善隣館ならではの「教育・保育」を実践していきたい。こどもたちはもちろんのこと、保護者や地元地域より「大和善隣館が湯野校下に来て良かった」と言われるように、引続き最大限の努力を惜しまずに、事業運営に努める。

②SDGs(持続可能な開発目標)宣言に対する取組

今年度「湯野こども園」新園舎にて「太陽光発電設備」を設置した。モニターにて現在の発電状況等が確認可能なため、子どもたちへの教育にも役立てていきたい。また、カーボンオフセット LP ガス(温室効果ガスの排出量を実質ゼロにした LP ガス)や再生可能エネルギー電気を使用し、環境に配慮した取組を実施。その他、今後の電気自動車購入を見越し、「月津こども園」及び「蓮代寺こども園」では、EV コンセント設置工事を実施した。(月津こども園では、R7/12 に電気自動車購入、湯野こども園でも来年度購入予定)その他、法人職員への福利厚生の一環としてハイブリット車や電気自動車購入に対する助成も実施し、今後の環境保全に繋げていきたい。

③職員採用

昨年度同様、自法人の YouTube チャンネルを活用した動画作成を各こども園施設にて行い、将来保育者を志す学生等に興味を持ってもらえるよう活動に取り組んだ。また、求職者だけではなく、子どもたちの日常の保育の様子や行事等を配信することによって、保護者の方々にも、子どもたちの普段のこども園での様子を観ていただけることから、法人や運営施設をより知ってもらえるツールとして引続き有効活用していく。人材確保が非常に厳しい昨今ではあるが、地道な活動を継続し、採用に繋げていきたい。

④奨学金貸与事業

今年度の利用実績はなかった。給付型奨学金制度創設や行政による奨学金も充実してきたが、法人独自の制度なので、引続き広報活動を行ってきたい。また、今年度から職員を対象に「奨学金補助手当」を導入し、該当者には手当を支給している。本手当を活用し返済負担を現状より軽減することが見込まれる。

⑤ハラスメント研修実施(一般職対象)

昨年度、管理職のみ対象としたハラスメント講習会に関して、今年度は一般職員向け(全職員対象)についても開催し、ハラスメントの定義を正しく理解するための研修を実施した。実施後のアンケート結果より、職員からは研修を受講して良かった、ハラスメントの定義等は難しいといった意見も見受けられた。今後3年程度の研修計画として、ハラスメントへの理解を全法人役職員にて深めていき、防止・撲滅に努めていきたい。

⑥化学物質管理者の選任

令和6年4月1日から、リスクアセスメント(事業場にある危険性や有害性の特定、リスクの見積り、優先度の設定、リスク低減措置の決定の一連の手順)の対象物である化学物質を製造、取扱い、譲渡提供するすべての事業場において「化学物質管理者」の選任が義務付けられた。こども園施設で使用する薬剤にもリスクアセスメント対象物があり、法に則った正しい取扱いを遵守していくもの。また、これらに附随し取扱う薬品の容量変更、マスクの種類や目を保護するゴーグル等の購入も実施し、何より職員の安全を守ることを最優先に対応していく。

⑦税額控除に係る証明書の有効期間更新(有効期間:令和7年5月14日から令和12年5月13日まで)

同制度は個人が社会福祉法人へ寄附金を支出した場合に税額控除の適用を受けることができる。税額控除制度はこれまでの所得控除制度に比べ、特に小口の寄附金支出者への減税効果が高まる一方、法人にとっては寄附金収入が拡大し、相互にとってメリットが見込める。同証明取得が法人運営の公益性の証明ともいえる。

3.職員の配置(事務所並びに施設)

令和8年3月31日現在在籍者数

	大和		松陽		月陽		津中		海蔵		代寺		やざき		湯野		芦城児童クラブ			蓮代寺		大和善隣館		大和ぬくもり大学		計																				
	こども園		こども園		こども園		こども園		こども園		こども園		こども園		こども園		一			児童クラブ		本部		もり																						
	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規	非常規	正規		非常規																			
事務局長																						1				1																				
園長・所長等	1		1				1			1					1		1				1		1		1	9																				
学長																									1	1																				
副園長・副所長	1															1			1							3																				
教頭	1		1			1					1															4																				
主幹・主任			1				1				1					1										4																				
副主幹																1										1																				
指導教諭			1		1																					2																				
主査					1						1			1												3																				
主査補	2		1		1			3					1		1											9																				
担当	10	6	15	11	7	8	8	5	1	9	4	2	1	6	6	4	12	2	6	7	9	15	4	3	1	2	1	2	167																	
派遣(能美市合)			1																							5																				
養護教諭																										0																				
看護師・保健師			2		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3										15																				
准看護師																										1																				
派遣																										0																				
栄養教諭	1																									1																				
管理栄養士																										0																				
栄養士	2		1	1	1	1	1	1	1				1		1	1	2									13																				
調理師	1		1	1	1			2			2	1	2	1		1	2									15																				
補助者(派遣合)																										0																				
代理																										0																				
係長																										0																				
主事																										0																				
主事補																							1			1																				
子育て支援員			1					1																		2																				
担当	1																1								1	3																				
保育補助			7		5			7			4		3		2		4									32																				
通訳(派遣合)			2		1																					3																				
運転士/誘導員			2							1		1					2									6																				
剣道/茶道等			2		4		3			3		1					1									14																				
ぬくもり大学																										14																				
小計	16	8	2	33	17	11	1	20	12	6	2	23	11	3	2	17	11	4	1	21	6	0	0	10	15	9	3	30	1	0	4	1	0	3	1	0	2	2	0	2	2	0	0	2	15	329
合計	59		49		43		33		37		16		57		12			4		2		17																								

産業医																										1	1
学	内科/小児科医		1		1		1		1		1		1		1		1										7
校	歯科医		2		1		1		1		1		1		1		1										8
医	薬剤師		1		1		1		1		1		1		1		1										7

【3】施設関係

1. 幼保連携型認定こども園 大和こども園の経営

昭和 23 年 11 月 1 日・児童福祉法により認可(平成 23 年度より定員 280 名)

平成 27 年 4 月 1 日・幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 275 名。翌年、大和保育園から「大和こども園」に名称を変更。

令和 4 年 4 月 1 日・認可定員 240 名に変更(1 号 15 名, 2 号 120 名, 3 号 105 名)

令和 7 年 4 月 1 日・利用定員 185 名に変更(1 号 15 名, 2 号 120 名, 3 号 105 名)

(1) 事業実績の概要

●主たる整備事業

- ・受水槽加圧給水ポンプ及び高圧ケーブル更新工事

●教育及び保育事業

法人の保育の基本方針(三つのゼン)を踏まえ、新たに教育・保育目標を「自分で考え、表現し、判断する子」「粘り強く取り組む子」「思いやりのある子」～愛されていると感じる空間に～とし、子ども中心の保育になるよう心掛けた。また、職員会等を通し、全職員がその意義について周知できるよう働きかけた。

子どもの主体性を生かした保育の推進にあたって、全職員を対象に子どもへの関わり方で大切な視点について学ぶ機会を設けた。まだ、十分とは言えないが子どもを肯定的に受け止め、その子らしさを大事にした関わり方を意識し、行動できるようになってきている。

保育への見方を広げるため、今年度も市外のこども園に職員を派遣した。乳児保育に関して他園の取り組みのよさを知り、保育の改善につなげることができた。また、金城大学短期大学部和泉客員教授を招聘し、乳児保育について指導を仰いだ。

障がいや発達上の課題のある園児への支援では、特別支援教育アドバイザーが中心となり、年間 40 回にわたり発達支援センターの訪問を要請する等園と保護者、関係機関のコーディネートを行った。また、保護者との面談は年間 54 回実施し、具体的な支援について家庭・園・関係機関と連携した中で育ちを支えることができた。さらに、職員の加配園児への相談に応じ、個に応じた居場所づくり、関わり方等よりの確な支援を行うことができた。

●子育て支援事業

未就園親子を対象とした地域子育て支援事業は、分園となる「やざき乳児保育園」で実施した。子育てに関する相談窓口は、ホームページ上に開設し、相談に応じられるようにした。また、地域に発信する情報誌「ぼかぼか大和」は、掲示及びホームページを通し、園の様子を伝えられるようにした。

(2) 月別在園児童数

大和		定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
3号 認定	0歳児	20	3	4	4	6	6	9	11	13	14	14	15	16	115	
	1歳児	30	24	25	25	26	25	25	25	26	26	26	26	26	305	
	2歳児	30	35	33	32	30	29	28	28	28	28	28	28	28	355	
2号 認定	3歳児	30	20	21	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	269	
	4歳児	30	30	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	371	
	5歳児	30	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312	
1号 認定	満3歳児	15	0	3	4	5	6	6	5	5	5	5	5	5	54	
	3歳児		5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	35	
	4歳児		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	5歳児		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
		185	153	158	158	160	159	160	161	164	165	165	166	167	1,936	

(3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援	延長保育	一時預かり	災害特例型
令和 6 年度	119	分園で実施	2,022	60	145
令和 7 年度	113	〃	1,387	55	0

2.幼保連携型認定こども園 大和こども園分園やざき乳児保育園の経営

令和3年4月1日 大和こども園の分園として新規開設(定員 29名)

令和5年4月1日 利用定員を20名に変更(3号20名)

(1) 事業実績の概要

●教育及び保育事業

今年度は、目指す子ども像を「安心して自分のやりたいことを見つけ、夢中になって遊ぶ子」とし、5つの重点項目に基づき、子ども一人ひとりの安心感や主体性を大切にしながら、日々の保育の充実に努めた。重点項目は、保育を行う上で、職員間で共有できる指針となり、日々の振り返りや期ごとの自己評価にも有効的であった。

0歳児クラスでは、「安心の基盤」を形成することの重要性から担当制保育を導入した。特定の保育者と情緒的な絆を結ぶことで安定した生活を送ることができ、興味を持った玩具や場所に近づいたり、手を伸ばしたり自ら向かう姿が多く見られた。1・2歳児クラスにおいても、子ども一人ひとりの思いや願いを尊重し、日々の小さな変化や気づきを保育者間で共有し、発達段階に応じた丁寧な関わりを行った。継続的な関わりを通して、より深い子ども理解に基づき、心身の健やかな育ちを支えることができた。

保育者の専門性の向上を目的として、積極的にキャリアアップ研修へ参加すると共に、金城大学短期大学部和泉客員教授を招き、カンファレンスの会を年2回実施し、実際に保育を見て頂き保育者の悩みに応じた指導・助言をいただいた。保育に対する多角的な視点や専門的知識が深まり、日々の保育においては難しさを感じつつも、その中で保育の楽しさや面白さを実感する機会も多く、保育者自身の学びと成長が保育の質の向上に繋がった。

●子育て支援事業

地域に向けた子育て支援事業「あっぷっぷ」を週2回開催し、季節の歌を歌ったり、親子ふれあい遊び、楽器遊びなどを実施した。少人数のゆったりとした環境で、親子で安心して集える場を提供し、地域の親子の育ちを見守り支援してきた。利用者から離乳食や健康についての相談件数は127件あり、給食職員、看護師とも連携しながら専門的に対応した。毎年実施している離乳食試食会に加え、新たに保健指導(嘔吐処理)を実施した。利用者が実際に体験して学ぶ機会を設け、子どもの発達や健康に対する理解を深め、子育てにおける不安の軽減を図った。

●地域との連携

地域の方には、毎月の園だより、地域情報誌「ありんこ」を各町内に回覧し、保育園での遊びの様子や園での取り組みについての情報発信を行った。

●その他

年度当初に発生した感染性胃腸炎の集団感染を機会に衛生管理体制の見直し及び環境改善を実施した。一連の対応から感染症BCPの内容に反映し、計画の作成に繋がった。また、大きな事故に繋がりがかねない事案を受け、マニュアルの再確認と遵守の徹底周知を図った。

(2)月別在園児童数

やざき		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	6	2	2	3	5	6	7	8	8	8	8	8	9	74
	1歳児	9	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	47
	2歳児	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
		20	8	8	9	11	12	13	14	14	14	14	14	14	145

(3)特別保育事業実績数

事業(件数)	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援拠点	延長保育	一時預かり
令和6年度	89	384組	8	30
令和7年度	95	458組	54	33

3.幼保連携型認定こども園 松陽こども園の経営

昭和 29 年 4 月 1 日・定員 80 名の認可を受け開設。

平成 17 年 4 月 1 日・より小松市より受託経営開始。

平成 18 年 4 月 1 日・定員 140 名で直接経営開始(平成 25 年度より定員 170 名)

平成 27 年 4 月 1 日・幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 170 名(内訳は 1 号 15 名/2 号 80 名/3 号 75 名)

平成 28 年 4 月 1 日・施設名称を「松陽保育園」から「松陽こども園」に変更

令和 7 年 4 月 1 日・認可定員を 170 名(1 号 15 名/2 号 80 名/3 号 75 名)、利用定員を 155 名に変更(内訳は適宜見直し)

(1)事業実績の概要

●教育及び保育事業

令和 4～6 年度 3 年間の研究テーマ「つなげる・つながる保育」での学びをきっかけに、園全体が同じ方向に向かって教育保育の探究に努めている。ぶつ切りの保育を見直し連続した保育からの子どもの探求心の向上、そして 3 つのキーワード「共有・連続・可視化」からクラス枠を超えた横のつながりを大切にしたい。そんな研究からの学び期間を経て、今年度は、「めざす子ども像; やりたいがあふれる子」を掲げ、年齢の子どもの発達や成長の姿に即して「やりたいがあふれる遊び環境」を考えた。「遊び環境委員会」を立ち上げ、園全体の遊び環境の向上を目指した。保育者一人一人が考える「やりたいがあふれる子どもとはどんな子どもであるのか」を遊びの場面を通して考察を行った。また、ドキュメンテーション作成において子どもの育ちの確認が不十分であることから、学びや育ちの読み取りが難しいと感じている職員が多くいることがわかった。講師、和泉美智枝氏と共に次年度は、教育保育要領等のカリキュラムを基に「育ちさがし」を園内研修会での学びのテーマとして考えたい。

施設関係者評価として、学校教育関係者、民生児童委員の方々が一年を通して公開保育に出席し、当園の教育保育に理解をいただいた。小学校との接続においては、近年、小学生と年長児のふれあいの機会がなかったため、令和 8 年度は、小学校に出向き、依頼をしたい。

今年度より 5 歳児健診が実施され、プラス健診への移行と配慮の必要な子どもの保育に年間を通して苦慮することが多かった。相談、面談の増加により、発達支援センター職員の園訪問が過密スケジュールとなった。今後、健やか保育支援事業コーディネーターとして支援の必要な子どもをサポートする職員が必要である。

職員一人一人がハラスメント研修を受講し、職員会議等では不適切保育について全職員と共有する機会を持つことができた。どんな行為が不適切なのかがわかり良かったとの声がたくさん聞かれた。

防災、安全対策においては、避難訓練の内容、引き渡し訓練の検証、日々の保育での安全体制において保育者間の共有、周知、課題からの改善をスピーディーに行った。子どもの置き去りや飛び出しを防ぐため、園内外を問わず人数確認の徹底を図った。

(2)月別在園児童数

松陽		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	13	2	2	5	5	7	9	12	12	12	12	13	13	104
	1歳児	21	18	18	18	18	18	19	19	20	20	20	20	20	228
	2歳児	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	303
2号 認定	3歳児	26	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25	305
	4歳児	28	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324
	5歳児	26	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
1号 認定	満3歳児	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	3歳児	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	4歳児	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
	5歳児	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
		155	138	138	141	141	143	145	148	149	149	149	150	150	1,741

(3)特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児保育	子育て支援「園開放」	延長保育	一時預かり	災害特例型
令和 6 年度	33	530 組	1,417	80	0
令和 7 年度	40	767 組	1,407	49	0

4. 幼保連携型認定こども園 月津こども園の経営

平成 24 年 4 月 1 日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始(定員 120 名)

平成 26 年 4 月 1 日・施設の名称を「月津保育所」から「月津保育園」に変更するとともに、定員 130 名に増員

平成 27 年 4 月 1 日・幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 140 名(内訳は 1 号 10 名/2 号 70 名/3 号 60 名)に増員

平成 28 年 4 月 1 日・施設の名称を「月津保育園」から「月津こども園」に名称変更

令和 4 年 4 月 1 日・認可定員を 135 名変更(1 号 15 名/2 号 65 名/3 号 55 名)

令和 6 年 4 月 1 日・利用定員を 105 名変更(1 号 15 名/2 号 45 名/3 号 45 名)

(1) 事業実績の概要

●主たる整備事業

大プールの修繕 事務所及びランチルーム兼休憩室の改修工事

●教育及び保育事業

「心身ともに健康な子ども」「自然を大切に作る子ども」「自分で考えて行動できる子ども」の 3 つの姿を教育・保育目標として子ども主体の教育・保育を推進してきた。自然や地域との関わりを取り入れた体験活動を行い、子どもの思いに寄り添いながら挑戦しようとする力を支える環境づくりに努めたことで、自然な異年齢交流が生まれ、互いに学び合う機会が充実した。次年度に予定されている小松市の研究発表に向けて、地域アンケートを実施し、地域から見た月津こども園の姿を把握する機会となった。地域の声を受け止め、今後の園運営に活かしていく必要性を改めて確認した。また、園内研修の充実にも取り組み、職員一人ひとりが主体性を発揮しながら保育の質向上に努めた。食育では、新ランチルームの活用を見据えた運用方法の検討を進めながら、野菜の栽培やクッキング活動を継続して実施した。お味見当番や配膳などの役割体験も取り入れ、食への関心や自立心の育成につなげた。健康面では、看護師を中心に健康状態や発育発達の継続的な把握に努め、感染症・アレルギー対応を強化した。今年度は年長児を対象にフッ化物洗口を実施し、今後も継続していく予定である。子育て支援では、園庭開放や相談対応を通して保護者が相談しやすい環境づくりに努め、多様な家庭状況に応じた柔軟な支援を行った。地域に開かれた子育て支援の推進にも意識して取り組んできた。家庭との連携では、教育・保育の可視化を図りながら次第に理解を得てきた。また、小学校や地域との連携においては、きめ細かな関わりを重視し、地域交流や防災連携を強化した。小学校とは子どもの情報を共有し、就学に向けたスムーズな接続に努めた。これらの取組を通して、子どもたちが自然に親しみ、地域に見守られながら主体的に育つ環境づくりを進めた一年であった。今後も園と家庭が連携し、子ども一人ひとりの成長を支えていく体制を継続して整えていく。

(2) 月別在園児童数

月津		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	15	2	2	5	6	6	7	8	9	9	11	11	12	88
	1歳児	15	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
	2歳児	15	16	16	15	14	14	14	13	13	14	14	14	13	170
2号 認定	3歳児	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	4歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	5歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
1号 認定	満3歳児	0	0	0	1	1	1	1	2	2	1	2	2	3	16
	3歳児	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	4歳児	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	5歳児	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
		105	94	94	97	97	97	98	99	100	100	103	103	104	1,186

(3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児 保育	子育て支援 「園開放」	延長保育	一時預かり		
				一時預かり	在宅育児	災害特例
令和 6 年度	39	208 組	342	93	0	0
令和 7 年度	40	224 組	387	70	55	0

5.幼保連携型認定こども園 中海こども園の経営

平成30年4月1日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始(定員105名)、同時に幼保連携型認定こども園に移行、施設名称を「中海こども園」とする

平成31年3月19日・新園舎完成(同年4月20日、落成式)

令和1年11月 ・園歌「にじのかけはし」制定

令和2年4月1日・認可定員を105名変更(1号15名/2号51名/3号39名)

令和6年4月1日・利用定員を65名変更(1号15名/2号24名/3号26名)

(1)事業実績の概要

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」を教育保育目標とし、教育保育方針“三つのゼン”をもとに、異年齢の交流に重点をあて、子どもの主体性を尊重し教育保育を進めてきた。

以上児(3.4.5歳児)は、登園後玄関ホールで身支度を済ませたあとホワイトボードでその日の活動等を確認し、自分のマグネットで園庭あそびや、2階保育室または遊戯室でのあそびを選択し活動に入っていく。その日の活動予定や天候によって、登園後すぐに園庭に出て活動できる体制も取ってきた。ランチホールで食事をした後は、となりの遊戯室で昼寝をし、起きた後はランチホールでおやつを食べ、そのあとは遊戯室で歌を歌ったり、踊りや体操など体を動かすという活動のリズムもできた。異年齢の活動が中心ではあるが、就学前である5歳児の教室活動やクラスごとでのサークルタイムなども大事にしてきた。異年齢での行事の取り組みも子どもたちの思いを聞きながら行ってきた。2歳児も1月ごろから徐々に以上児の異年齢交流に参加し始めた。異年齢の友だちと関わることで、社会性が育ち、思いやりの気持ちや真似たり刺激を受けたりしながら子どもたちの成長が見られた。保育者においては互いの考えを話し合うことで共通理解ができ、保育の質の向上へとつながったと感じている。今後も職員の話し合いや対話を密にすることを意識していきたい。

地域の方はいつも協力的で、子どもたちに貴重な体験をさせていただいている。特に食育活動では講師になって畑での栽培や梅干し、味噌づくり、焼き芋、田植え、稲刈りなど体験することができた。また、駐在所のおまわりさんと連携をとり、不審者訓練に参加していただいた。小学校との連携においては、6月の大雨洪水想定避難訓練で中海小学校へ行った際に校内を見学した他、運動会を見たり、1年生との交流、小学校で休み時間の様子を見せていただいたりして、年長児にとっては、就学の期待へとつなげていくことができた。

子育て支援では、年度後半より支援室を開催することができるようになり、入園前の子どもと母親が利用し、室内で遊んだり、保護者同士の情報交換の場となった。子育て支援情報誌や園だより、情報誌等は各町内に回覧し、こども園の取り組みを知っていただくよう努めた。

(2)月別在園児童数

中海		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号認定	0歳児	6	0	0	0	0	2	3	4	4	4	4	4	5	30
	1歳児	9	7	7	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	97
	2歳児	11	17	17	16	15	14	13	13	13	13	11	11	11	164
2号認定	3歳児	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	77
	4歳児	8	6	6	6	6	6	7	7	8	8	8	8	7	83
	5歳児	8	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	53
1号認定	満3歳児	0	0	0	1	2	3	4	4	4	4	6	6	6	40
	3歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	4歳児	5	6	6	6	6	6	5	5	4	4	4	4	5	61
	5歳児	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
		65	57	57	58	58	60	59	60	60	60	61	61	62	713

(3)特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児保育	子育て支援「園開放」	延長保育	一時預かり
令和6年度	96	20組	115	26
令和7年度	42	76組	4	48

6. 幼保連携型認定こども園 蓮代寺こども園の経営

平成30年4月1日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始(認可定員120名・1号/15名/2号60名/3号45名)。

同時に幼保連携型認定こども園に移行、施設名称を「蓮代寺こども園」とする

令和3年3月18日・新園舎完成(同年5月1日、落成式)

令和5年7月 ・スマイル農園(園庭東側に隣接した土地を購入)完成

令和6年4月1日・利用定員を85名に変更(1号15名/2号33名/3号37名)

(1) 事業実績の概要

○人材育成と保育の質の向上・・・ここ数年間なかった講師招聘による園内研修、助言者や小学校教諭を迎えての法人公開保育と協議の他、視察研修として法人内2園及び県外の園に複数職員を派遣することにより職員間での視察成果の共有が進んだ。

日頃の保育を振り返り、質の向上につなげるため、週案の形式を見直した。また、毎月のクラスだよりでは、日ごろの保育の中での子どもの姿から「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が見られた様子を、年間を通して紹介した。ドキュメンテーションの発行も定着している。これらのことを通して、保護者の子ども理解だけでなく職員にとっても保育の質の向上について見つめる機会となった。また、園内研修では、児童虐待に関する法令改正を受け、適切な保育も含めて資料を用いて園内研修を行った。

人材確保が困難な情勢の中、ハローワーク、エンパワーサポート、地域への募集チラシ、リファラル、人材紹介会社など様々な方法で確保に努めた。また、保育の仕事のよさの理解を広め、将来の人材確保につながることを期して職場体験、高校生ボランティアの受け入れを積極的に行った。

○業務改善・・・職員の委員会や係を再編成し、スリム化・効率化を図った。ICT化の一層の推進と業務能率の向上を図るため、生成AIの活用指針を明文化し少しずつ試行的に利用している。

○環境、食育、地域連携・・・すまいる農園は、虫、草花と触れ合える場所として定着している。野菜や米の栽培収穫を祖父母や地域の協力者の方々と行っている。子どもたちの自然への興味関心や学びの場であり、食育の場ともなっている。食育活動は、食材に触れたり、自ら調理体験をする機会を多くしたりした。給食では、子どもたちの意見を取り入れたメニューや子どもたちが店員として活躍するハンバーガーショップ形式を取り入れた。

○小学校、地域との連携、子育て支援・・・小学校との連携では、公開保育・公開授業の相互参観など職員の行き来や小学校長と園長の懇談の回数を増やし、園と小学校の接続カリキュラム編成に向けて動き出すことができた。

子育て支援は、利用者数は多くはないが楽しみにされており、入園につながった方もおられる。内容に、看護師や調理師の話を聞いていただく機会を取り入れ、理解啓発も行った。

高齢者の買い物バスは、民生委員を中心とした方々と年2回の会合を持ち、買い物バスの状況や課題、地域のニーズの共有を図った。また、地域情報紙「スマイル」を年3回発行し、各町内に回覧し、園の取り組みを知っていただくよう努めた。

(2) 月別在園児童数

蓮代寺		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	10	5	6	7	8	10	10	11	11	11	12	12	12	115
	1歳児	12	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
	2歳児	15	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	14	14	199
2号 認定	3歳児	11	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	152
	4歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
	5歳児	11	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
1号 認定	満3歳児	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	17
	3歳児	5	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	40
	4歳児	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	67
	5歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		85	76	78	79	80	82	82	83	82	82	83	83	83	973

(3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児保育	子育て支援「園開放」	延長保育	一時預かり
令和6年度	36	88組	209	104
令和7年度	40	84組	277	44

7. 幼保連携型認定こども園 湯野こども園の経営

令和6年4月1日・能美市立保育園民営化事業を受け、幼保連携型認定こども園として直接経営を開始。

施設名称を「湯野こども園」とする。

認可定員 205名/利用定員 205名(1号 15名/2号 100名/3号 90名)

令和6年10月1日・園舎新築工事着工。令和7年10月31日竣工。

令和7年11月29日・落成式

(1) 事業実績の概要

本年度も、保育室面積不足により入園希望者をすべて受け入れることができない状況であった。年齢ごとの園児数に対応する保育室の数が足りず、2歳児と3歳児の共同のクラスを1クラス設けることで、保育室不足を補った。

湯野地区の恵まれた自然環境を生かした日々の活動として、自然豊かなゆの山では、多くの気づきや学びを得ることができる体験活動を日常的に行い、畑やプランターでの野菜の栽培は、食育活動としてさらに充実した活動となるよう取り組んだ。野菜の色・形・特徴や栽培方法を調べたり、家族と話し合い得た情報を持ち寄ったりして家族ぐるみで関心を広げることができた。収穫した野菜はその日のうちに調理してもらい味わったり、どんな料理にして食べたいかを話し合いクッキングをしたりして、食への関心を深めていった。また、楽しい行事食、美味しい給食を目指し、園児にも保護者にも好評を得た。これら日々の活動や食育の取り組みは、ドキュメンテーションとして玄関に掲示したりコモンにて配信したりして保護者に関心をもっていただき、理解を深めていった。

11月からの新園舎での生活では、オープンな環境を生かした保育をめざし、職員間で試行錯誤を繰り返し整えていった。その中から子どもたちの育ちを見つめ、環境設定や生活の見直しを行い、子どもたちが意欲的、主体的に生活できる環境を目指した。

発達上の課題のある園児が多く、こども相談ステーションとの連携を深め、巡回相談により園児の発達の確認、支援の方向性の確認、具体的な支援方法についての助言を得て支援のさらなる充実を目指した。また、保護者とも面談を通して育ちや課題を共有し連携することでより良い支援を探っていった。また園内研修を通して担任以外の保育者の園児への理解も深めていくように努めた。特に年長児の小学校への接続のため、教頭他教員と年数回の保育見学や情報交換会を行い、園生活や個々の園児の特性などを直接見ていただく事で小学校生活に繋げることができた。

地域の子育て支援として、月1〜2回園開放「どんぐり広場」を開催したが、新園舎になり子育て支援室「どんぐりルーム」ができたことで、安心して集える場として喜ばれた。また、今年度は情報誌を4回発行して地域に回覧し、こども園の取り組みを発信していった。民営化に伴う新園舎建築への地域の期待に対し、情報を発信することで、関心を持っていただいた地域の声の関係者からも聞かれるようになり、一定の効果が得られた。新園舎のお披露目会では大変多くの地域の方が家族で来園され関心の高さを感じた。

職員の質の向上を図るためのキャリアアップ研修等は、公立園が主の能美市では定着しておらず、非常勤雇用だった職員のほとんどに受講歴がなく、今年度、能美市が小松市、加賀市とキャリアアップ研修の連携を行い、能美市としての研修も開催したことで研修の機会が増え、職員にも推奨していった。また、自己評価チェックリストや人権擁護のチェックリストを計画的に行い、職員個々の気づきや意識改革に働きかけたり、園内研修で話し合ったりして保育の質の向上を目指したが十分ではなかった。

民営化による、能美市職員との2年間の共同保育(令和6年度8名、令和7年度4名)が終了した。

(2) 月別在園児童数

湯野		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	20	4	5	5	9	11	11	14	16	18	20	20	20	153
	1歳児	35	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372
	2歳児	35	32	30	30	31	30	31	29	30	31	31	31	31	367
2号 認定	3歳児	28	23	24	24	24	23	23	24	24	24	24	24	24	285
	4歳児	40	37	37	36	36	38	39	38	38	39	39	39	39	455
	5歳児	32	29	29	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	338
1号 認定	満3歳児	0	0	1	1	1	1	1	2	3	2	3	3	3	21
	3歳児	5	4	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	39
	4歳児	5	4	4	5	5	3	2	3	3	2	2	2	2	37
	5歳児	5	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	94
		205	171	171	171	176	177	178	180	184	186	189	189	189	2,161

(3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児保育	子育て支援「園開放」	延長保育	一時預かり
令和6年度	433	47	378	57
令和7年度	305	50	813	25

8. 芦城児童クラブ 1・2・3 の経営

平成 17 年 4 月 1 日・芦城小学校平成集義室にて開設

平成 22 年 4 月 1 日・「第一」「第二」に分割運営開始

平成 27 年 4 月 1 日・「子ども子育て新制度」施行により小学 6 年生までを事業対象にする。このため定員変更

(第一芦城っ子クラブ定員 45 名/第二芦城っ子クラブ定員 45 名)

平成 27 年 6 月 1 日・小松市意向により施設名を「芦城児童クラブ 1」「芦城児童クラブ 2」に変更

令和 7 年 4 月 1 日・「芦城児童クラブ 3」(定員 45 名)を新設

(1) 事業実績の概要

令和 7 年度は「子どもたちの自己肯定感を育む」という施設理念のもと、支援員 13 名体制で日々の育成支援にあたった。本年度より「芦城児童クラブ 3」を新設し、定員を 135 名まで拡大したが、前年度から進めてきた職員の増員や配置の見直し、学校側との連携による特別教室の確保など、持続可能な運営基盤を整えたことで、大きな混乱もなく円滑な運営を実現することができた。特に、学校との情報交換がこれまで以上に充実したことは、協力体制をより強固なものにし、安定した運営を支える大きな要因となった。

日々の育成支援においては、1 年生から 5 年生までという幅広い年齢層に対応するため、発達段階に応じた学年別行事を実施するとともに、子どもたちが自主的に参加できる遊び場を設けるなど、環境に合わせた柔軟な工夫を凝らした。児童数が最大となる夏休み期間中には、学年別の遠足や「夏のつどい」、ボウリング大会、近所のお寺へのお参りといったお出かけ行事を積極的に取り入れ、活動の充実を図った。

さらに、学校の先生方を招いての「小松うどんを食べよう」や「駄菓子屋さん」などの体験行事をはじめ、年間を通じて趣向を凝らした多彩な行事を実施した。毎年好評の「親子レクリエーション」や地域交流を目的とした「新春旗源平大会」、地域貢献の一環である「学校一周ゴミ拾いボランティア」の実施は、家族や学校との絆を深めるだけでなく、地域住民からの理解をより確かなものにしたと考えている。

こうした現場の活動を支える運営面においても、まずは保護者との連携を密にするため、アンケートの実施や希望者を対象とした個人面談を行い、家庭との信頼関係の構築に努めた。あわせて、支援員の資質向上のために研修会へ積極的に参加するとともに、職員間での密な連携や定期的な勉強会を実施し、日々の研鑽を通じて組織全体のスキルアップを図った。

今後の重要課題は質の高い育成支援を安定的に提供し続けるための「組織力の強化」である。支援員の確保・育成に注力し、多様化する保育ニーズへ柔軟に対応できる体制を維持していく必要がある。芦城児童クラブ 3 の開設を大きな契機とし、今後も子どもたちの健やかな成長を支える場として、更なる事業の充実と質の向上を目指していく考えである。

(2) 月別登録在所児童数

開設日数	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計						
平日	17	17	17	20	20	20	21	21	21	14	14	14	0	0	0	20	20	20	22	22	22	18	18	18	18	18	18	16	16	16	18	18	18	16	16	16	600						
土曜日	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	3	2	0	2	2	0	2	2	0	1	2	0	2	2	0	48						
その他	4	4	4	0	0	0	0	0	0	8	8	8	18	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	3	3	3	0	0	0	5	5	5	120						
合計	67			64			67			70			58			64			70			59			64			61			57			67			768						
児童クラブ	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	
児童数	1年生	16	16	15	16	15	13	16	15	12	17	17	15	15	16	15	16	15	12	16	15	12	16	15	12	17	17	11	17	11	17	17	11	16	15	11	18	16	11	196	189	150	
	2年生	15	14	14	15	12	13	15	13	14	16	13	14	15	13	13	11	15	13	11	15	13	10	15	14	12	15	15	12	15	13	11	15	16	11	15	173	143	173				
	3年生	11	11	10	9	10	8	9	9	8	12	11	12	13	12	13	10	8	8	8	9	8	8	9	8	7	11	9	7	10	9	7	9	8	7	11	9	7	123	112	102		
	4年生	7	7	8	5	5	4	5	5	5	9	6	9	8	6	8	5	4	4	4	3	3	5	3	3	5	2	3	4	2	3	4	2	2	1	2	63	46	54				
	5年生	5	5	4	2	2	3	2	2	3	5	5	5	5	6	4	3	2	3	3	1	3	2	0	2	4	3	3	4	3	3	2	1	2	2	1	3	39	31	38			
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	54	53	51	47	44	41	47	44	42	59	52	55	56	53	53	47	40	42	45	38	41	45	36	39	51	43	39	50	43	39	44	37	37	49	38	38	594	521	517			
うち加配児童	2	2	1	2	2	1	2	2	1	3	3	1	3	3	1	3	3	1	3	3	1	3	3	1	3	3	1	3	3	1	3	3	1	3	3	1	33	33	12				

9.蓮代寺児童クラブの経営

平成31年4月1日・「蓮代寺児童クラブ」を受託運営開始(定員25名)

※指定管理者/令和6年4月1日～令和11年3月31日の5年間

(1)事業実績の概要

令和7年度は登録児童43名、支援員5名で「子どもたちの自己肯定感を育むために、無条件に愛される体験、褒められるという体験、共感してもらえる体験、感謝される体験、達成感を得られる体験を」の施設の理念のもと支援にあたった。また、保護者や子どもたちとの信頼関係の構築にも力を入れた。

「環境の整備」として、7年度も定員数に対して在籍数をはるかに超えており、環境は良好とは言えない状況だった。そんな中、地元町内の方々のご協力のもと、直接、生涯学習課課長、担当者に現状を報告し、今後の要望を提示する機会をいただいた。その時に、保護者からの要望もあり、街灯の設置を要望し、その後設置に至った。また、防犯対策及び児童の安全確保の目的で、防犯カメラを設置し、子どもたちが安心・安全に過ごせるよう環境作りに努めた。子どもたちには、長期休みに、朝そうじを毎日の日課に取り入れ、自分たちが毎日過ごす施設を自分たちできれいにすること学んでもらった。

「児童の健全育成」として、毎月の恒例行事のチャレンジでは、昨年と同じ内容もあれば、少し内容を変え、ビンゴリレーやキックベースなども取り入れ、今までにやったことのないことにみんなで挑戦してみよう！と、諦めずに挑戦することが達成感につながるということを実感する良い機会となった。また季節に応じた行事を計画し、子どもたちの参加型ではなく主催型の行事に変え、クリスマス会やお楽しみ会などに子どもたちの意見やアイデアを取り入れた。

「コミュニケーション力を高める」取組として、子どもたち自ら内容を決めた行事の司会進行をやってみることで、人に伝える力、聞く力を養うことができ、そのことが子ども同士の遊びの上でも、上手く遊びが成立し、トラブル減少にもつながったように思う。

「支援員の研鑽、研修」では、新たな補助員には、積極的に研修会に参加してもらい、自己研鑽に努めてもらった。今年度もZOOMを活用した研修会が多く、研修に参加しやすかった。また、施設内研修では、支援員同士、些細なことでも報告し合い、情報を共有することで、全員が同じ目的をもって支援にあたることができた。

「保護者との連携」として、コドモンを大いに活用し、出欠の連絡はもちろん、引き渡し訓練、そして緊急時にはいち早く一斉に連絡することで、保護者の方の安心感にもつながった。また年に一度のアンケートもコドモンでスムーズに行うことができた。保護者とは、お迎え時にクラブでの様子を話し、保護者との連携を図った。また昨年に引き続き、お迎え時を利用して茶話会を行い、普段の子どもたちの様子を直に見ていただけたこと、そして私たち職員にとっても、いつものお迎えとは違い、保護者の方とゆっくり話をするととても良い機会となった。

3月には新一年生保護者説明会を行い、事前に学童クラブについて説明し、質問等に答えることで保護者の方に安心して4月から学童を利用していただくことができた。

「学校・関係機関との連携」として、学校とは打ち合わせ会や担任の先生との情報交換会の他に、日常的な情報交換を行い、情報の共有を図った。また、3月には蓮代寺こども園の先生から、新一年生のこども園での様子等を聞かせていただいたことで、スムーズな受け入れを行うことが出来た。

(2)月別登録在所児数

開設日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平日	17	20	21	14	0	22	22	18	18	16	18	16	202
土曜日	3	1	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	25
その他	4	0	0	8	18	0	0	0	2	3	0	5	40
合計	24	21	23	24	20	24	25	20	22	21	20	23	267
児童数	1年生	15	15	15	16	18	16	16	15	16	15	15	187
	2年生	10	9	9	11	12	8	7	7	7	7	7	101
	3年生	5	4	4	4	5	4	4	3	3	3	3	45
	4年生	4	4	4	4	4	2	2	2	3	2	2	36
	5年生	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	34	32	32	36	40	30	29	27	29	27	27	28
うち加配児童	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33

10.大和ぬくもり大学の経営(小松市中央老人福祉センター受託事業)

昭和 19 年 6 月 15 日設立 昭和 33 年 4 月 1 日社会福祉事業法許可

平成 4 年 7 月 1 日「大和ぬくもり大学」開校

平成 9 年 10 月 小松市芦城センターに移転

令和 1 年 10 月～令和 2 年 6 月 小松市芦城センターリニューアル工事・・・全講座基本休講

令和 2 年 6 月 小松市芦城センターでの事業再開(新型コロナウイルス感染禍での再開となった)

(1)事業実績の概要

大和善隣館は、創設理念を原点として、現在に継承されている。平成 9 年 10 月に芦城センターが建設されると法人本部事務局と共に移転し、小松市が設置した小松市中央老人福祉センターの事業運営を受託し、現在は主として高齢者福祉事業として「大和ぬくもり大学」を開校し生涯学習講座及びに相談事業・講師、利用者の安否確認を実施している。

●大和ぬくもり大学

福祉(ささえあい)と教育(まなびあい)を一体としてとらえ、これを統合的、有機的に運用するために、平成 4 年 7 月 1 日に開講した。小松市内在住の 55 歳以上の方を対象に、令和 8 年 3 月末現在、13 講座 3 クラブを開講し、利用状況は右表のとおりであった。

※令和 7 年 5 月をもって、「料理講座」が閉講となった。

【大和ぬくもり大学 令和7年度実施行事】

・令和 8 年 3 月 28 日(土) 第 26 回卒業証書授与式を開催

【大和ぬくもり大学年間利用者延べ人数】

講座名	開催回数		利用状況					
	令和6年度	令和7年度	令和6年度			令和7年度		
			利用者数	入学者数		利用者数	入学者数	
				75歳以下	75歳以上		75歳以下	75歳以上
料理	16	4	52			10		
社交ダンス	45	47	321	1		426	1	1
俳句	12	11	38		1	34	1	
歴史	12	12	96			74		
茶道	24	24	193	1		206	1	1
書道	23	24	227			236		
詩吟	45	45	213			242		1
歌謡舞踊	34	36	267	1		293		
パソコン	42	48	302	2		348	2	1
水彩画	20	20	69	1		53	2	
ちいさな水彩画	23	24	89			87		1
ぬくもりヨガ	24	24	183	1	1	187	2	
リフレッシュダンス	99	103	700	1	1	823		1
加賀水引	11	12	122	1		121		
合唱クラブ	27	40	528			726	2	
囲碁クラブ	47	46	411		1	400		
歌謡曲クラブ	43	44	602			559		
合計	547	564	4,413	9	4	4,825	11	6

(2)相談事業・・・26 件

(3)安否確認・・・86 件

令和 7 年度事業報告は以上である。

社会福祉法人大和善隣館

理事長 広川 保

役員名簿

令和8年3月31日

役員	氏名
理事	荒井 早苗
〃	池田 巧
〃	大西 千鶴
〃	片桐 真二
〃	清水 啓子
〃	田中 琴乃
〃	堂前 弘美
〃	西田 みゆき
〃	広川 保
〃	和田 博史
監事	嘉藤 恵子
〃	高田 眞次
〃	中田 眞知子
〃	森 和美

役員	氏名
評議員	飯田 清美
〃	池田 辰雄
〃	遠州 賢
〃	柿本 佳美
〃	北川 潔
〃	劔崎 隆
〃	辰巳 平一
〃	出口 春一
〃	中山 美保子
〃	西井 松雄
〃	西田 頼子

※五十音順